

季刊

唯物論研究協会編集

思想と現代

特集 ● 身体からだを劈ひらく

自我・世界・他者

1992

30号

〈鼎談〉

身体・言葉・世界

哲学の身体化のために

中村雄二郎 / 竹内敏晴 / 古茂田宏

〈からだ〉と教育実践

身体の私的所有と共同性について

エストの生成と身体

身体論ノート

身体・学校と身体教育の課題

〈古典探訪〉

頭蓋学

フランツ・ヨーゼフ・ガル

吉田和子

竹内章郎

森下直貴

津田雅夫

池谷壽夫

発売元

白石書店

大月書店

東京都文京区本郷2-11-9
電話03(3813)4651<代表>

●歴史観と解放理念の根本を問い直す

46判カバー・2200円(≒310円)

社会主義を哲学する

唯物論研究協会編 ●崩壊から見えてきたもの

現代の社会変動をひきおこすもの

後藤 道夫

「資本主義の最高段階(?)」としての大衆社会的資本主義

ベトナムにおける「社会主義の道」の堅持

古田 元夫

ハコミュニケーションと変革思想の現代化

尾関 周二

「二人でいること」と協同の矛盾

佐藤 和夫

矛盾の透明化としての社会主義

『資本論』はまちがっていなかったか

岩崎 信彦

フェティシズム論—労働価値一元論への疑問

社会主義における市場と民主主義の問題

碓井 敏正

新しい社会主義の可能性のために

社会主義の転換と知識人

石井 伸男

社会主義社会とはどんな社会か

河村 望

多元主義的世界観の可能性にむけて

佐藤 春吉

哲学からの唯物論の再構築

佐藤 春吉

●遊ぶことに引け目を感じてはいないだろうか

遊びと生活の哲学

人間の豊かさと自己確認のために

尾関周二著 46判・予価2000円

「日本の豊かさ」が問われている。私は、十分に働き、かつ遊び、他人と深くコミュニケーションできたとき、それが真に人間らしい豊かな生活であると思う。いまだに「忙しいことは美德だ」という抜きがたい価値感がありはしないか。人間にとって「遊び」のもつ本質的な意義とは何かを考えてみよう

季刊

思想と現代

1992年6月

第30号

唯物論研究協会編集

発売元 白石書店